

◆活動団体

団体名：川棚温泉まちづくり株式会社

連絡先：083-774-3855（川棚温泉交流センター「川棚の杜」内）

◆活動内容

『毛利侯を学ぶ、古道を歩く、川棚温泉の旅』シリーズ

専門家の講義と語り部の現地解説で古道を歩く人気のシリーズ。平成27年度は、幕末の勤皇公家、中山忠光卿の長州での足跡を辿りました。

尊皇攘夷派浪士たちにより結成された天誅組は、文久3年（1863年）に公卿中山忠光を主将に大和国で決起するも、朝廷の賛意を得られず吉野熊野の山中で孤立無援のままに戦い続けて壊滅。倒幕の同志を頼りに長州へと亡命してきた忠光卿を長府藩が庇護します。しかし、激変する政局に翻弄されるかのように、忠光卿は長府藩内の漁村、山村を転々とする潜伏逃避行を余儀なくされ、ついには元治元年（1864年）に、田耕村（現在の下関市豊田町）で暗殺されました。その首謀者は今も判然とせず、一説には、忠光卿を持って余した長府藩俗論派が放った刺客とも言われています。



H27 年度

この忠光卿暗殺事件のミステリーに関する著書「暗殺の森」のある直木賞作家、古川薫先生の基調講演（平成27年8月29日）をオープニングに、9月から平成28年3月まで計8回に分けて、かつての忠光卿の足跡を辿って下関市内の古道を南から北まで歩きました。明治維新の陰に葬られた幕末哀史の謎解きを語り部の現地解説とともに楽しんだ参加者は延べ700人、総歩程は50キロになりました。



川棚温泉まちづくり株式会社では、『川棚温泉の旅』シリーズとしてテーマ型の古道ウォークを実施しています。平成28年度のテーマは近代交通。鉄道の廃線跡や未成線を専門家の現地解説付きで一緒に辿る予定です。

また観光ガイドの会主催のJR山陰線の一駅ハイキングもご好評に応じて定期的に実施しています。

